

地域・離島歯科医療実習 レポート

学籍番号：4317100277

氏名： 杉澤 美幸

実習先：平島・悪石島

実習期間：令和 5年6月9日 ~ 6月14日

1. 自然環境

平島、悪石島に加えてそのほかの有人島5つ、無人島5つの計12の島々をトカラ列島と呼び、十島村とされる。村としては南北に約160Kmに渡って飛び石状に浮かぶ、日本で一番長い村である。具体的には鹿児島市から大牟田市までの距離に匹敵する。また、立地は鹿児島市からは南に約250Kmの場所に位置している。火山や海食崖、サンゴ礁、野生生物の生息地でもある天然林などが存在し、トカラ列島県立自然公園に指定されている。島内はほとんど平坦地がなく、海岸からいきなり屹立する山の急斜面となる地形となっている。温暖な気候であり、年平均気温は鹿児島市に比べ、2-3℃高く、亜熱帯気候である。周囲は平島が7.23Km、悪石島12.64Kmである。

2. 社会的背景

平成28年データによると、総人口が平島66人、悪石島70人。高齢化率は約30%。高校は無いため、中学卒業後は島を離れることになる。公共事業のために島外者も定期的に来ているとのことである。

トカラ列島には平家の伝説が残されており、平家の落人が源氏の追っ手から逃れるために島に悪石という名前をつけ、島へ近寄らせないようにしたとも言われている。平島には源氏が来るのを見張るための平家の穴と呼ばれる名所が存在する。

3. 住民の生活


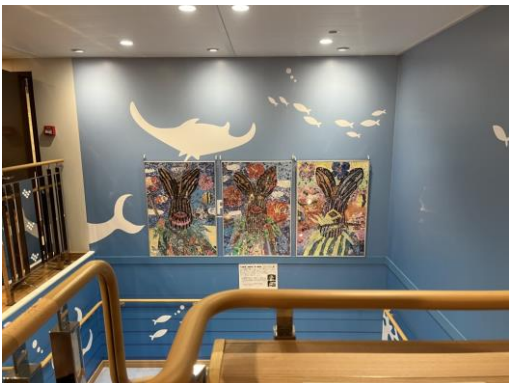
悪石島に小さな売店は設置されていたが、平島には現時点ではなく、将来的に設置予定とのことであった。食料品や生活品は本土から取り寄せている。各家庭には大きな冷凍庫を所有していることが多いようで、悪天候によりフェリーが来れない時に備えながら暮らしている。基幹産業は畜産である。

悪石島ではボゼという来訪神がお盆最終日に悪霊を祓う伝統行事が執り行われ、観光ツアーの一つにもなっている。

4. 医療供給体制

島内には村営診療所が一つあり、看護師1名が常駐している。しかし、その他の医療・福祉施設は設置されていない。月に1-2回医師による巡回診療が実施されているが、天候による船の欠航も多いため、十分に実施されている訳ではない。緊急時にはヘリコプターによって鹿児島市内や奄美市内への搬送が行われているが、看護師が普段から島民の体調面に気を配っており、何かあれば重篤化する前に本土への病院受診を勧めているとのことだった。主な疾患は外傷が一番多く、次いで循環器・消化器疾患の罹患が多い。

実習概要

日付	内容
6/9	<p>23時 フェリーとしま2 出航。 南教授や小児歯科の先生方、同級生に見送られ、出航。 フェリーには21時から乗船可能で、出航の23時までには船内の食堂が解放されており、乗客の多くがそこで自由に過ごされていた。 台風の影響で少し波が荒く、多少の揺れはあったものの無事に出航。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>日没前のフェリーとしま2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>甲板から見る鹿児島市</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>船内に飾られた悪石島ボゼの絵画</p> </div>
6/10	<p>9時 悪石島到着。 あいにくの雨模様であったが、無事に時間通りに到着。 悪石島で下船される方は数人いらっしゃった。 下船する際、船から降ろされている階段を使って降りるのだが、その階段を島民の方が揺れないよう支えて下さっていた。</p> <p>まずコミュニティセンター（コミセン）へ移動し、診療準備設営。 小中学生の歯科検診（口腔内診査、フッ化物歯面塗布）を主に実施。 成人に対しては主に歯周組織検査とPMTC（歯石除去・歯面清掃）を実施。 こじか号では晩期残存乳歯抜歯の際、デンタルX線写真の撮影も行った。 片付けを行い、明日のフェリー移動に備え、診療器具をコンテナ内へ移した。 診療後は民宿へ戻り、先生方と一緒に夕食をとり、銭湯へ行った。</p>



やすら浜港



コミュニティセンターでの診療台設置



民宿での夕食

6/11

7時 悪石島を出発し、約1時間後に平島へ到着。

朝は雨がひどく、船が悪石島へ着港するのが遅れたため、港にあるコンテナ内で乗船を待った。

平島に着いてからは悪石島と同じようにコミセンへ移動し、診療準備。

今回はこじか号が無いので、コミセンでポータブルユニットだけでの診療となった。

中学生は職場体験のため島外へ出ており、健診は実施できず。

成人へのPMTTC実施。

義歯調整は、フィットチェッカーにて確認後に行った。



平島案内板



民宿しらさか荘



民宿での昼食

6/12

昨日に引き続き、予約に沿って診療開始。

未就学児童・小学生への歯科検診実施。

成人に対してはPMTTC実施。

空き時間には島内巡りにも連れて行っていただいた。

トカラ列島の島々は手つかずの自然が残されており、集落の外れにそびえる大きなガジュマルは樹齢千年を超えているとされている。

毎日自然を感じながら生活することができて、とても気持ち良かった。



千年ガジュマル



十島村を一望できる展望台



民宿での夕食

<p>6/13</p>	<p>予約患者への診療を行った。 くさび状欠損のため、知覚過敏が強い患者へのコンポジットレジン充填実施。 空き時間には歯周組織検査の相互実習も行った。 診療終了後にコミセンを片付け、診療器具はコンテナ内へ移動させた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>海岸から見渡す風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>最後の夕食</p> </div> </div>
<p>6/14</p>	<p>平島を出発し、鹿児島へ帰港。</p>

振り返り記録

天候が悪い中での出航から始まったため、初日は船酔いから始まったが、その後はとても有意義で楽しい実習であった。島に着いてすぐに歯科診療や検診を実施したが、島民の方の口腔内清掃状態は非常に良好であった。そのため、口腔状態に問題が無く、早急に治療が必要な方がほとんどおられなかったため、歯科医院が近くに無いことで、普段から健康への意識を高く保っておられるのだろうと感じた。しかし、看護師さんから、巡回診療を利用されない方もいるため、そのような方はまた状況が変わってくる、との説明も受けた。

出会った島民の方々は「不便ですよ～」と言いつつも、笑顔で島の生活について話してくだり、生きる力やたくましさを感じた。さらに島民の方達は普段から声かけしながら、生活している印象を受けた。悪石島で小中学生を引率してきた先生は今年から赴任され、かつ、教師1年目ということで、島民の方が「私たちがサポートできる部分はなるべく協力したい」と話してくださり、温かさを感じた。同じ県内に住んではいるが、生活は大きく違う。診療に関しては機材の準備はもちろん大変ではあったが、清潔不潔を徹底することがより大変であった。看護師の方と協力しながら、滅菌も行った。

診療以外の時間には島内を巡り、その自然の豊かさに触れることができ、また、宿泊施設では毎日とても美味しい食事を提供して下さいました。

この実習に参加することができて、とても嬉しく思っています。